世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：まちなかの賑わいづくりと次代を担う人づくり

中心市街地の活性化　　　　　　　　　　　　』

平成28年2月17日（水）16：00～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または  不可能な理由等 | 担当課 |
| 1 | 商店街を特区というかたちで位置づけ、人・物・金が集まる高い流動性が生まれる場所にするべきである。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 現在、内閣府で認定を受けている松山市中心市街地活性化基本計画をもとに、国から社会資本整備総合交付金等の支援を受け、銀天街と大街道が交差するいわゆるL字地区の周辺の再開発や商店街空洞化対策を行っています。  　特区を定め、規制緩和により新たな事業の創出を目指すには、具体的に障害となっている規制すべてを洗い出す必要があります。  道路は、まちなかに残された最後の空間として、まちの活性化のため、さまざまな活用方法が考えられます。  今後、道路空間を利活用したまちづくりを進めていく中で、例えば人の賑わい創出が期待できる「歩行者天国」なども含め、道路法や道路交通法などの規制が支障となる場合は、国の特区や規制緩和制度もありますので、都市・交通計画課までご相談ください。 | 地域経済課  玉井　宏幸  089-948-6548  都市・交通計画課  脛永　正広  089-948-6836 |
| 2 | 商店街に人が集まり、アイディアや実行力が生まれ育っているので、さまざまな方の意見を取り入れながら進めていくことが大事だと思う。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、中心市街地賑わい再生社会実験（みんなのひろば）や、銀天街L字地区再開発の専門部会などを通じて、地域の皆さんの意見をお聞きしています。  また、中心市街地商業振興エリアマネジメント支援事業では、商店街の現状分析を行うために、市民をはじめ中央商店街の来街者にアンケート調査を行い、中央商店街等に対する意見や要望、駐輪場や駐車場の実状等の情報を商店街関係者の方に提供しています。  本市としては、今後もあらゆる手法を用いて、さまざまな方からご意見をいただきながら、より良い事業の実施に向けて検討していきたいと考えています。  中央商店街では、若手経営者を中心に歩行者天国でイベントなどを行う「スプリングフェスタ」や、商店街の店主が講師となってお店の個性や魅力をお客様に伝える「まちゼミ」に取り組まれるなど、地域の担い手のアイディアや実行力が生まれ育っています。 | 都市デザイン課  田中　健太郎  089-948-6516  地域経済課  玉井　宏幸  089-948-6548 |
| 3 | 中心部の人口が５％増えれば、まちが潤うというデータを見たことがあるが、そのためには、投資（リニューアル・リノベーション）が必要だと思うが、市として人口を増やすためにどのようなことを考えているのか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 「松山市中心市街地活性化基本計画」では、基本方針として「魅力ある暮らしの場としての都心居住環境の形成」を掲げ、民間と協働して、松山駅周辺土地区画整理事業や優良建築物等整備事業などの再開発による、魅力的な高層住宅等の整備等、快適で暮らしやすい生活環境の形成を推進しています。  銀天街については、L字地区の再開発や地区更新の勉強会を進めていますので、市街地再開発事業、優良建築物等整備事業等の推進を通じて快適な住環境を創出し、住みたいと思われるまちなかを目指したいと考えています。 | 都市デザイン課  田中　健太郎  089-948-6516 |
| 4 | 湊町・千舟町周辺の駐車場と駐輪場の整備方針と自転車・原付の利用者がまちなかへ行きやすくするための今後の整備方針を教えてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | まちなか駐車場の需給バランスについては、イベント等の特殊事情を除き、供給が需要を満たしている状況から、現在、松山市が整備する計画はありません。  駐輪場については、基本的に民間の活力を活かし、本市が補助するかたちで整備を進めています。松山市駅前から花園町の放置自転車に対しては、本市が行う花園町の道路整備にあわせて駐輪場を整備する予定です。  このほか、松山市駅前についても今後、地元の皆さんの意見も参考に検討していくとともに、一定規模以上の建築物の新増設の際に義務として整備される「附置義務駐輪場」により、整備されていくと考えています。  また、自転車でまちなかへ行きやすくするための整備方針については、花園町に自転車道を設置するほか、千舟町通りには自転車が走る位置を示す道路標示を進めていくなど、今後も、安全で使いやすい自転車の走行環境整備に努めていきたいと考えています。 | 都市・交通計画課  中津　優  089-948-6445 |
| 5 | 松山市駅前は夜になると真っ暗になるのでイメージがよくない。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | タウンミーティング後の2月22日に、松山市駅前の高速バスのりば周辺を確認し、車道、歩道部分ともに通行の安全上、明るさに問題がない状況ですが、現在、地元の皆さんや関係機関等とワークショップで、松山市駅前広場の公共空間のあり方について協議していますので、松山市内外の方々から選ばれるまちなかとなるよう、照明についてもあわせて検討していきます。 | 道路管理課  寺本　司郎  089-948-6471  都市・交通計画課  松田　博  089-948-6846 |
| 6 | まちなかのカラス対策をしてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | カラスは、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」で、人間に直接危害を加えるような場合でなければ駆除や捕獲できないことになっています。  現在、市内中心部では、早朝のゴミ出し指導を業務委託したり、カラスのねぐらとなっている公園や学校の木の伐採、ＮＴＴや四国電力が実施している鳥よけの設置等で対応を行っていますが、カラスの個体数を減らせていません。  本市としては、今後もゴミ出しマナーの啓発をこれまで以上に促進させていきます。 | 環境ﾓﾃﾞﾙ都市推進課  伊藤　彰規  089-948-6434 |
| 7 | 外国人観光客への対応が難しいので、サポートしてもらう体制ができないか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、愛媛県や松山商工会議所と連携し、県内の観光関係者などを対象に英語・韓国語・中国語での簡単な挨拶や各国の一般的な知識を学ぶことができる「観光国際化研修」を実施しています。  また、外国人とのコミュニケーションに必要となる定型会話をまとめた「指差し会話集」や「おもてなしペーパー」を作成し、市内の飲食店等に配布するなど、外国人観光客受入のサポートに努めています。  　さらに、これまで公衆無線LAN「松山フリーWｉ-Fi」の整備や観光施設等での案内表示の多言語化にも取り組んできましたが、今後も、ますます増加する外国人観光客への、さらなる対応を検討していきたいと考えています。  そのほか、無料の多言語音声翻訳アプリなどを利用することも外国語対応の手段のひとつであると考えています。 | 観光・国際交流課  上甲　亮介  089-948-6887 |
| 8 | 銀天街アーケードの維持管理等について費用負担の問題がある。今後の再開発を含めて市の協力をお願いしたい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、地元主体によるまちづくりを支援するとともに、土地の有効活用による良好な街並みの形成や、商業の活性化を図るため、まちづくり推進支援事業として、「松山銀天街L字地区再開発全体協議会」が策定する構想案や、各街区の再開発に向けた合意形成等の支援を行っています。  銀天街アーケードの維持管理等も、構想案の作成や再開発に向けた調査・研究を行っていく中で、商店街の活性化とあわせて、地元の皆さんと協働して検討したいと考えています。  一番町交差点周辺では、ラフォーレ跡地の民間再開発にあわせて、本市が景観整備（自然石を用いた歩道舗装や照明柱等を整備）を行ったほか、松山大街道商店街振興組合が築30年以上経過したアーケードをリニューアル（一部撤去）して、“憩いの空間”を創出しました。  銀天街L字地区では、再開発等の進捗により、一番町交差点のような官民連携の整備が必要となることも考えられますので、今後、基本計画を作成する中で検討を進めます。 | 地域経済課  米田　雅史  089-948-6548  都市デザイン課  田中　健太郎  089-948-6516 |
| 9 | 民生委員や地域の独居高齢者を見守る人自体が高齢化している。市の福祉施策で何か見守りできることはないか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市は、高齢者のみの世帯の希望者に対する見守りとして   1. 緊急通報装置を設置し、24時間体制で対応しています。   ②地域の民生児童委員さんと協力して独居高齢者みまもり員を設置し、ひとり暮らしの高齢者の定期的な訪問や見守り活動を行っています。  ③77歳以上のひとり暮らし高齢者への乳酸菌飲料の配布④高齢者のみの希望世帯への配食サービスの配達時等による安否の確認。  ⑤福祉電話設置者への安否確認電話などの方法による確認を行っています。  一方で、民生児童委員の高齢化や後継者不足は、全国的な課題ですので、平成26年3月に「第3期松山市地域福祉計画（ささえあいプラン）」を策定し、松山市社会福祉協議会と連携して、地域福祉のリーダー的な人材を養成する「地域コーディネーター養成講座」を行っています。  こうした意識啓発的な取組を通じて、福祉への関心を高め、高齢化の解消につなげていきたいと考えています。  各事業の詳細は、下記へお問い合わせください。   1. ② ④ ⑤高齢福祉課TEL　089-948-6408   ③松山市社会福祉協議会TEL　089-941-3828 | 高齢福祉課  渡部　通子  089-948-6408  生活福祉総務課  川崎　俊彦  089-948-6397 |
| 10 | 花園町東側のアーケードを撤去したが、将来的に設置の予定はないのか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 花園町通りの東側では、魅力ある街並み景観の形成に向け、地元主体による建物景観整備（ファサード整備）が進められており、松山市も技術的・財政的な支援を行っています。  　その中で、出し入れ可能な日よけテント（オーニングテント）を連続的に設置することで、通行者の快適性の確保と、通りの華やかさを演出する方針が、地元でまとまったことから、アーケードを再設置する予定はありません。 | 都市デザイン課  高橋　史朗  089-948-6848 |
| 11 | まちの回遊性を高めるため、カーシェアリングについて検討していきたいと考えているが、市として、レンタサイクルや駐車場・駐輪場のハブとなるところを整備できないか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | コミュニティサイクルは、まちなかの回遊性向上や公共交通機能を補う有効な移動手段であると考え、現在、自転車を置く場所や数などを検討しています。  平成25年3月に策定した「中心地区市街地総合再生基本計画」では、L字周辺地区の整備方針として、再開発整備を中心に老朽建物を新しくすることにより、魅力ある商業施設、車でまちなかを訪れる方を中心地区の入口で受け止めるフリンジ型駐車場、広場等の公共公益的機能を一体的に創出することにしています。  また、平成27年9月からL字地区で目指す再開発のあり方を示す「基本計画」の作成を進めていますが、その中でも施設需要や道路、広場、駐車場など、地区に必要な都市機能について調査・検討を行うことにしています。 | 都市・交通計画課  松田　博  089-948-6846  都市デザイン課  田中　健太郎  089-948-6516 |
| 12 | 地域ポイントを発行し、行政・商業・交通を連携させてお金の流動性と観光客のリピート率向上を図ることが、地元商業の発展につながると思う。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 地域ポイントを発行するためには、各店舗の協力が不可欠です。まずは、中央商店街内でどの程度の参加者が集まるのか調査を行うべきと考えますので、来年度の中心市街地エリアマネジメント支援事業で意向調査等を行い、その結果をご活用いただければと思います。その後、参加者が一定数集まれば、支援策等を検討していきたいと思います。 | 地域経済課  相原　宏淳  089-948-6548 |
| 13 | Ｌ字地区から市役所を含めた四角地区は30年以上経過した施設や設備が多いので、行政サービス機関も含めて、文化的な意義や歴史的な発掘もしながら開発する施策をお願いしたい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 中央商店街周辺には築30年以上を経過した建築物が多く、都市機能の面でも空洞化が進むなど課題が生じています。  松山市では、平成25年3月に「中心地区市街地総合再生基本計画」を策定し、一番町交差点周辺、松山市駅周辺、L字地区周辺を含む中央エリア（約33ha）について再開発による建築物の整備及び誘導、道路やオープンスペース等の整備を官民連携して、効果的かつ計画的に進めることにしています。 | 都市デザイン課  田中　健太郎  089-948-6516 |
| 14 | 商店街の私たち自身がおもてなしの心を大事にするなど、人間性を向上させることでまちづくりや再開発といった具体的な問題に取り組むことができるようになると思う。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市としても、地域に根付くおもてなし風土を活かして、まちなかでの「おもてなし力」を向上させる取組や、まちなか再開発について、官民一体となって検討、推進していくことでまちなかへの集客力が高めていきたいと考えています。 | 地域経済課  相原　宏淳  089-948-6548  都市デザイン課  田中　健太郎  089-948-6516 |